

# 地域で豊かな経験を

今治南高校（今治市常盤町7丁目）の生徒が、子ども食堂を通じた子どもの支援に力を入れている。2025年12月26日には同校で初めてとなる子ども食堂「もぐもぐいまなんK-ITC HEN」を開催。地元の小学生に芋炊きを振る舞い、勉強を教えるなどして交流を深めた。

## 今治南高で初の子ども食堂

同校生は24年から、子どもや1人暮らしの高齢者らに向けた地域食堂「れんこん」（同）

## 児童と芋炊きで交流

### 冬休みの宿題手伝いも

市北島生町1丁目）のボランティアスタッフとして、配膳の手伝いや学習支援などに取り組んでいる。今回は常盤小学校（同市中日吉町2丁目）の児童に体験してもらおうと、生

見守ったり、計算を教えた。学年別に算数や国語のプリントも用意した。運動場では鬼ごっこで手をつなぎ、元気いっぱいに運動場を駆け巡った。

常盤小1年の御堂海音さん（7）は「芋炊きがおいしかった。お姉さん、お兄さんとお話しを食べる今治南高生

楽しそうに児童と芋炊きを食べる今治南高生

徒約30人が企画・運営した。

今治南高の調理室では、園芸クリエイト科で生産したサトイモとハクサイを使った芋炊きを提供した。「よく食べたね」「学校は美味しい？」和やかな雰囲気で生徒と児童はすぐに打ち解け、会話を弾んでいた。

食事後は教室で冬休みの宿題をする児童を



児童の学習を見守る今治南高生

掲載許可番号：d20260106-02